

令和5年度帯広地区の研究活動

研修部長 帯広市立豊成小学校
校長 平野 司

1. はじめに

帯広市校長会は、小学校25校、中学校13校、義務教育学校1校の校長で構成している。基本方針や活動の重点に基づいて、全体としての調和を大切にしつつ小学校長会と中学校長会に分かれて具体的な活動に取り組んでいる。調査・研究活動を重視し、小中別に研究委員会を設けて、実践的な研修に励んでいる。また道小の研究計画を基に研究体制を整え、帯広の子どもの健やかな成長に責任をもつ職能団体としてその機能を果たすため、研鑽に努めている。



◇学校経営基礎研修（7月24日開催）◇

2. 研究計画

(1) 基本方針

本年度の帯広市校長会及び帯広市小学校長会の運営方針に基づき、今日的教育課題や当面する学校経営諸課題の解明と新しい時代の要請に応える学校経営の充実・発展に資するために校長としての専門的職能向上を図る研修に努める。

(2) 研究主題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち ともに未来社会の創造に挑戦する子どもを育てる学校経営の推進～

(3) 研究の重点

- ① これからの学校教育の在り方を学校経営の視点から展望し、実践的に究明し、その成果を明らかにする。
- ② 各学校が抱える経営上の諸課題について交流を進め、解決策の具現化に努める。
- ③ 全連小研・道小研との関連を重視し、先を見据えた共同研究体制を構築する。

(4) 研究内容と方法

内外の教育の動向をとらえ、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探求し、その内容を交流・発信する。4つの研究委員会を中心に毎月の定例校長会議において研修を深める。また、小中合同の研究協議会の開催や紀要の発行を進める。

3. 研究活動の概要

(1) 職能向上に関する研修の実施

- ① 目的 教育の動向を捉え、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探究し、その内容を広く交流・発信していく。
- ② 概要 会員全員が4つの委員会（「学校経営委員会」「教育課程委員会」「危機管理委員会」「教育課題委員会」）のどれかに所属し、それぞれの委員会ごとに、レポート交流や協議会を実施する。

(2) 「学校経営基礎研修」の開催

- ①目的 採用2年目までの校長を対象に学校経営について学び、職能向上を図る。
- ②期 日 年間2回実施（令和5年7月24日（月）、12月5日（火））
- ③内 容 講話（先輩校長から「課題解決の方策」「校長に必要な資質・能力」等）
交流（テーマに沿って、日頃から考えていること等を交流する）

(3) 「学校経営研究協議会」の開催

- ①目的 校長としての職能向上や学校経営の改善及び充実に資するため、今日的教育課題や学校経営の在り方について研修を深める。
- ②期 日 令和5年11月16日（木）
- ③参加者 帯広市内の全小・中学校、義務教育学校の校長・副校長が参加（40名）
- ④内 容 提言 ・小学校学校経営委員会「学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくり」
・中学校生徒指導委員会「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」
講演 「学校教育に関わる今日的な課題について」
講師：北海道教育庁十勝教育局長 新山 知邦 様

(4) 「スクールリーダー育成セミナー」の開催

- ①目的 スクールリーダーの自覚と教師力の向上を図り、次代のリーダー養成のため、今日的教育課題についての実践的研修を進める。
- ②期 日 令和5年12月26日（火）
- ③参加者 十勝管内小中学校のミドルリーダーを対象に開催
- ④内 容 講話Ⅰ 「『今日的な教育課題』に関わって」
講師：北海道教育庁十勝教育局義務教育指導班主査 児玉 祥洋 様
講話Ⅱ 「『学校組織のマネジメント』に関わって」
講師：帯広市立翔陽中学校 校長 今野 典之
演習 テーマに沿って、自校での取組や実践等を交流する

(5) 研究紀要「教育新潮」の発行

- ①目的 1年間の研究をまとめ、成果と課題を確認するとともに内外に発信する。
- ②概 要 小・中校長会の合本とし、3月に発行する。

(6) 第66回北海道小学校長会教育研究渡島・北斗大会への参加

- ①期 日 令和5年9月8日（金）、9日（土）
- ②会 場 北斗市総合文化センター
- ③参加者 11名

(7) 第75回全国連合小学校長会研究協議会東京大会への参加

- ①期 日 令和5年10月19日（木）、20日（金）
- ②会 場 東京国際フォーラム
- ③参加者 3名

(8) 全国連合小学校長会各種委員会調査への協力

4. おわりに

帯広市小学校長会は、全連小、道小との研究の関連性を重視し共同研究を進めるとともに、コロナ明けの学校経営について、積極的な意見交流や情報共有を通して、認識を一つに対応してきた。また、会同での各種事業も多く実施され、対面での人と人との関わりのよさや有益性を改めて実感できるものであった。中教審の緊急提言をはじめ、学校が取り組むべき課題は山積しているが、今後も研修に邁進し、校長としての自己研鑽と組織力向上に努めていきたい。